

宇都宮大学

# 峰ヶ丘講堂

登録有形文化財（建造物）



峰ヶ丘講堂は、宇都宮大学の前身である宇都宮高等農林学校（1922年開学）の講堂として1924（大正13）年に竣工しました。

1970年代には、学園紛争により講堂としての使用が不可能となり、長い間、学生がサークル活動の部室として利用してきました。その後、施設の保全・改修を求める多くの要望を受け、本学同窓生を中心とした有志による寄附金等に支えられ、2008（平成20）年から2009（平成21）年にかけて改修工事を行いました。これにより、竣工当時の姿に復元することができました。2010（平成22）年には名称を公募し、学内外からの応募93点の中から『峰ヶ丘講堂』に決定されました。

この宇都宮高等農林学校時代の面影をとどめる峰ヶ丘講堂は、2017（平成29）年に「登録有形文化財（建造物）」に登録されました。大学の公式行事や学生活動のみならず、テレビドラマや映画の撮影場所としてもご利用いただいております。宇都宮大学のシンボリックな存在として広く親しまれています。

